

看護学科

大都市東京の第一線で看護を担う

看護学は医学、生物学などの近接領域の基礎的な知識を基盤として、病気や障がいを抱えた人々の身体的・精神的・社会的な課題を理解し、根拠に基づいて支援することを探究する学問です。本学では、思考力を鍛え、専門的な技術や判断力、倫理的な感受性を身に付け、病院や地域で社会からの要求や期待に応えられる専門家となる人材を育成します。



3つの特色

1

高い国家試験合格率

知識や技術の習得はもちろん「考える力」を育みます。

2

実践重視の教育

人々の健康のためにさまざまな場所や立場で貢献できる「実践力」を鍛えます。

3

国際交流の機会

海外留学や交換留学生との交流のチャンスを通じて「国際的な視野」を獲得します。

●取得可能な資格・免許

- 学士（看護学）
- 看護師・保健師* 国家試験受験資格

*保健師教育課程履修者のみ（選抜制）

看護師の免許を取得したのちには、助産学専攻科や大学院への進学により助産師や専門看護師を目指すことができます。

●看護師の仕事

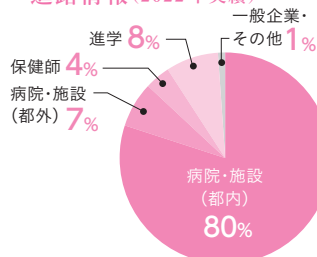
看護師は、乳幼児から高齢者まで、あらゆる成長発達段階にある人を対象とし、病気や障がいがあってもその人らしく健康的な生活ができるよう支援する仕事です。また、病気や障がいになる前や重症化を予防するためにかかわったり、家族やパートナーなど関係する人々に対する支援を行ったりします。

●国家試験合格状況（2022年実施）

資格名	受験者	合格者	合格率	全国※
看護師	84名	83名	98.8%	90.8%
保健師	20名	19名	95.0%	93.7%
助産師	10名	10名	100%	95.6%

※既卒者を含む

●進路情報（2022年実績）



●主な進路先

東京都立病院機構、国立国際医療研究センター病院、虎の門病院、東京大学医学部附属病院、慶應義塾大学病院、杏林大学医学部附属病院、榊原記念病院、聖路加国際病院、国立がん研究センター東病院、荒川区、東京都立大学助産学専攻科

CURRICULUM

カリキュラム

▶ 4年間の流れ

1年次

医療人である前に
人として教養を深める
大切な1年

南大沢キャンパスで多彩な学
間に触れ、看護を学ぶ基礎を
作ります。

2年次

看護の専門的な知識・
技術に関する学習が
本格的にスタート

荒川キャンパスでさまざまな
対象に対する看護の講義・演
習を行います。

3年次

これまでの学びをもとに
臨床の場で実践を通して
さらなる学習を

対象者はもちろん、家族や多
職種など多くの関係の中で実
践的に学びます。

4年次

4年間の総まとめを行い
医療人としての
スタートラインを目指す

総合臨床看護学実習、卒業
研究を通して、自ら考え実践
する力を養います。保健学専
攻生は、加えて公衆衛生学の
講義と実習を行います。

▶ 授業紹介

3年次

成長発達看護学演習(小児)

種吉 啓子 准教授

子どもと家族の未来のために、
小児看護の礎を築く

子どもと家族を大切に思い、確かな知識と技
術を持って看護できることを目指し、医師、保
育士、時には子どもと母親を先生にお迎えし、
授業を行います。

4年次

看護倫理学

習田 明裕 教授

「生きることに寄り添い支える」
看護の原点を学ぶ

看護は対象者の人権や尊厳、個々の価値観に
根差したケアを提供するだけに悩み葛藤を抱
えます。看護倫理はケアを方向づけ、力を与
えてくれる学問です。

4年次

災害看護学

織井 優貴子 教授、増谷 順子 准教授

そのとき、わたしにできること、
あなたにできること

災害看護は、全ての人を対象としています。
災害が起こった直後から支援できる看護の基
礎知識、地区の災害対策を知り、今、私たち
ができることにトライします。

▶ PickUp 授業



看護基礎援助学I～VII

野村 亜由美 准教授

基礎的な知識の習得と看護実践能力の 向上のための学習環境

看護基礎援助学I～VIIでは、看護の基本的機能として「環境調整」「コミュニケーション」「安全・安楽」「ボディメカニクス」「倫理的配慮」の5つの柱を軸に、看護の対象となる人が持つ固有の習慣や価値を大切にしながら、その人が「その人らしく」生きていくための日常生活の援助や、治療が苦痛なく安全に提供できるための診療技術を学んでいます。これらの基本となるのが看護の知識・技術・態度の能動的な学びです。科学的根拠に基づいた看護の基礎的な知識を身に付けるだけでなく、学生が主体的に自らの経験を通して看護を体系的に学び、そして考えることができるような教育体制が準備されています。例えば、実際の臨床場面を想定した少人数による学内演習、医療用モデル人形を活用したシミュレーション教育、さらに看護実践能力の向上のためのICT (Information and Communication Technology) を活用した自作動画の教育にも力を入れています。

CURRICULUM

カリキュラム

▶ 学びの主な領域と課程

看護学科では、看護の基本を学ぶ「基礎看護学」、人の成長発達段階ごとの看護を学ぶ「母性看護学」「小児看護学」「成人看護学」「高齢者看護学」、身体疾患の看護とは異なる専門性をもつ「精神看護学」、入院患者ではなく生活者への看護である「在宅看護学」、さらには「国際看護学」や「公衆衛生看護学」など、幅広く多彩な切り口で看護を学びます。



高齢者看護学 織井 優貴子 教授

これからは、 私たちが「生きる」ことを支える

日本の高齢化に伴う看護の課題は、いかに「その人らしく生き生きと過ごす」ことを支援できるかです。高齢者看護学では、「健康に過ごす」ことを理解する方法として人型シミュレータを用いながら、「知識」を「実践」に活かすことができるように学びます。



成人看護学 飯塚 哲子 准教授

医療を受ける患者の命を守る技術力と つらさを捉える想像力を身につける

成人看護学は、さまざまな疾患と治療を受ける対象者のニーズを学び、対象に応じた確実で安全な医療技術を提供する基礎と、応用するための考え方を講義と技術演習を通して身につける科目です。演習では看護師役、治療を受ける当事者役を交替で行い、当事者の目線で考える視点を養います。



母性看護学 木村 千里 准教授

いのちを育み、家族を丸ごと支える！

母性看護学は女性の生涯にわたる健康生活への支援を学びます。妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期における母子や家族の発達課題や健康問題だけでなく、女性の生涯を通しての性や生殖に関する健康的な生活を支えるための知識や技術を修得します。演習や実習では、近隣の母子支援施設において親子の支援を学習します。



保健師教育課程(科目名:公衆衛生看護学実習) 齊藤 恵美子 教授

保健師国家試験受験資格取得希望者が 履修する課程(選抜制)です

保健所・保健センターでの実習では、地域に暮らすさまざまな人々と触れ合いながら、人々の健康の維持・増進、健康障害の予防と回復を支えるための知識と技術を学びます。

助産学専攻科について

本専攻科は、看護師の免許を持った人が、助産師になるために必要な、知識と技術、心構えを身につける1年間のコースです。東京都立大学の看護学科からも、毎年、数名の学生が入学をします。学部から引き続き、同じキャンパスで学ぶことができます。助産師としての幅広い活動ができるよう、出産に関することだけでなく、思春期や、子育て支援についても学ぶことが特徴です。

注：進学にあたっては、東京都立大学の学生も入学試験を受ける必要があります。

奨学金について

看護学科の学生は一定の条件のもと、東京都の「看護師等修学資金貸与制度」も利用可能です。

(→ P20「学生支援」のページ参照)

▶ 臨地実習

病院や地域の
さまざまな場所で
健康課題を持つ人々への
看護を実践的に学びます

教員は、学生がパフォーマンスを
最大限発揮して、充実した実習に
なるよう支援します。また実習前
にOSCEを実施し、健康課題を
持って生きている人々から真摯に
学ぶための準備を行っています。

	前期						後期					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2年次							基礎看護学実習Ⅰ				基礎看護学実習Ⅱ	
3年次			臨地看護学実践実習					臨地看護学実践実習				
4年次	総合臨地看護学実習		看護管理学実習	公衆衛生看護学実習		公衆衛生看護学実習						

* OSCE (Objective Structured Clinical Examination : 客観的臨床能力試験)

● 実習先一覧(科目名:臨地看護学実践実習)

成人看護学領域	<ul style="list-style-type: none"> ●がん・感染症センター東京都立駒込病院(文京区) ●国立国際医療研究センター病院(新宿区) ●東京都立東部地域病院(葛飾区) ●東京都立墨東病院(墨田区)
母性看護学領域	<ul style="list-style-type: none"> ●東京都立大塚病院(豊島区) ●立川相互病院(立川市) ●東京都立豊島病院(板橋区) ●日産厚生会玉川病院(世田谷区) ●日本医科大学付属病院(文京区) ●榊原記念病院(府中市) ●東大和助産院(東大和市) ●たんぼぼ助産院(荒川区) ●かえる助産院(中野区) ●ほっこり〜の蔵(埼玉県蕨市) ●パースあおば(神奈川県横浜市) ●みどり助産院(神奈川県横浜市)
小児看護学領域	<ul style="list-style-type: none"> ●東京都立小児総合医療センター(府中市) ●荒川区内の保育所
高齢者看護学領域	<ul style="list-style-type: none"> ●立正佼成会附属佼成病院(杉並区) ●東京都済生会向島病院(墨田区) ●花と森の東京病院(北区)
精神看護学領域	<ul style="list-style-type: none"> ●東京都立松沢病院(世田谷区)
在宅看護学領域	<p>【各病院及び訪問看護ステーション】北区内4か所／足立区内4か所／荒川区内3か所／豊島区内2か所／墨田区内1か所／千代田区・新宿区・中野区・文京区・府中市・神奈川県川崎市各1か所</p>

● 実習中の1日の流れ(例)

※成人看護学領域

実習内容	
8:00	病院に集合、着替え
8:30	申し送り、病棟へ挨拶、行動計画発表
9:00	受け持ち患者様のバイタルサイン測定、情報収集
10:00	看護ケアの準備、実施、片付け
11:30	指導者への午前の報告
12:00	昼食、休憩
13:00	情報収集、看護ケアの準備、実施、片付け
14:30	指導者へ午後の報告
15:00	学生カンファレンス
16:00	病棟へ挨拶、実習終了、着替え
16:30	解散

学生カンファレンスでは、教員や実習指導者の方と集まり、実習中に出てきたさまざまな悩みを話し合います。

在学生の声



看護学科4年
柴崎 理緒さん
(2023年度現在)

多彩な教養を身につけながら 看護職としての可能性を追求したい

いま私が感じているのは、看護職の幅広い可能性です。当初は助産師志望でしたが、高齢者などの健康増進を目的に、保健指導などに従事する保健師の業務にもやりがいを感じています。一方で、地域の子ども向けに母性看護学の先生が行っているボランティア活動にも参加。具体的な将来像は模索中ですが、多くの選択肢があることが魅力です。どの道に進むにしても、重視しているのはコミュニケーション能力。今後本格化する実習には入念に準備をして臨み、患者さんを第一に考えてコミュニケーションをとりながら、実践力を高めていきたいです。

● 柴崎さんの3年次の時間割

	月	火	水	木	金
1限	実践基礎 援助学 (急性期 看護学各論)			実践基礎 援助学 (慢性期 看護学各論)	成長発達 看護学演習 (高齢者)
2限		公衆衛生学	精神看護学Ⅱ		
3限		成長発達 看護学演習 (母性)	成長発達 看護学演習 (小児)	リハビリ テーション 看護学	
4限	看護研究				在宅看護学

演習型の授業では、グループワークで看護技術の練習をしながら、お互いの考えを話し合う時間もあり、学生の仲が深まります。また、看護職以外の医療従事者による講義科目や、英語で疾患の勉強をする科目なども充実。看護職という同じ目標を持つ仲間と一緒に勉強することは楽しいですし、総合大学でさまざまな挑戦をしながら、視野を広げられます。